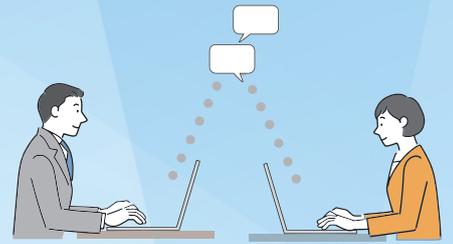


自分のネットワークをつくる

人はそれぞれの仕事の中で、何らかの専門性を持って動いています。しかし、介護なら介護の専門分野の中で働いていても、更にその中には細かく専門性があり、自分の知識だけでは分からないこと、知らないこと、そして苦手なところがあります。それらを解決するには専門書も沢山ありますが、なかなか探せない、読み切れない、理解しきれないことが多いもので、何かあった時にどうしたらよいか結構悩むものです。



世の中には、それぞれの専門性を持った人が沢山います。そういう方たちとのご縁を大切にし、自分のネットワークとして(勝手ですが)繋がりを持ち続けることです。自分の専門外や苦手なところを補ってくれる、大切なネットワークとなります。

どんな仕事でもクレーム・事故・トラブル・問題等がつきまとうものです。そうした時にその対処法についてそれぞれ相談できる人を作っていれば、一人で悩まなくて済みます。更に仕事上の悩み等、解決策やアドバイスが得られることで不安などが解消し、自分のスキルアップのヒントも得られます。

私も高齢者業界、介護業界に携わって22年になります。周りから見ると、この業界のことは何でも分かっているように見られますが、そうはいきません。そのために自分なりのネットワーク(長嶺のNをとってNネットワークと名付けています)を作っています。様々な相談を受けたり、アドバイスを求められたりしますが、知りません、分かりません、出来ませんという応えはしていません。問いかけられたことに応えられるように、Nネットワークのそれぞれの専門家に問いかけや相談をして、それをご相談いただいた方にお伝えしたり、時には専門家を紹介するよう努めています。

例えば、法的なことが相談できる弁護士・司法書士・行政書士、介護や看護のことなら介護福祉士・看護師・ケアマネジャー、リハビリやセラピーなら理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・音楽療法士・園芸療法士、人事労務のことなら社労士、利用者や職員の心の問題なら臨床心理士等々、その他何十人もの経験豊富な専門家、信頼できる方がいて、生きた情報、解決策が得られます。

仕事が行き詰った時や問いかけられた時、相談された時は自分のスキルアップのチャンスですし、お役に立てる機会でもあり、ネットワークがより広がり、強固なものになっていく時でもあります。あなたの分身になるネットワークを構築していきましょう。

